

企画書

灯をともしよう。



# 企画書

「長和町のバス停たちー」

長和町各地にあるユニークなバス停たちー

その可憐なフォルムは秀逸ー

多様な個性は出色ー

そこで私たちが提案するのは

## 「灯をともしよう 長和町」

プロジェクトです。

地域の特性と歴史と共に独自の進化をとげた長和町バス停は多様な趣きを見せる他では見られない稀有な存在である。

これは住民の交通基盤を越え、インスタ映えする観光スポットとして大いに期待できる。

多彩なバス停を巡りながら周囲の観光スポットと結び、長和町の良さを知って欲しい。

作 山崎 瞳子

# 灯をともしよう。



# 現状の課題

- ◎ 風情がある。  
歴史ある趣きを感じさせるところが見所。
- × 夜は灯が少ない。  
足元が暗く近づけない雰囲気がある。

写真：仏岩駅 停留所内にて撮影

昼間は風情あるバス停群だが  
夜間は人気も少なくなり、やや  
寂しい。  
観光目的の女性や家族連れのは  
遠きがちになるだろう。  
そこで特産物の立岩和紙を  
使って「行灯」を作り、バス停をラ  
イトアップしよう。  
柔らかな光が、より一層、長和町  
の魅力を伝えてくれるはず。

# 活用と作品例 1

設置場所

||

雪山

×

雪靴

コンセプト

長和町は山に囲まれ、冬になると雪が降り積もり、ブランシュたかやまスキーリゾート（スキー場）が開設される。

古の先人達も雪山での生活は苦難であっただろう。そこで愛用されたのが

「雪靴」だ。それはどこか暖かく美しい。

雪靴型行灯をバス停に設置することで利用客全てに、長和町の特産品「立岩和紙」をアピールすると共に、長和町の自然とクリエイティブな和紙の融合美を感じて欲しい。



制作：黒飛 友理奈

# 活用と作品例

2

設置場所

|| 仏岩駅

## 【仏岩駅】概要

大門街道から見上げる山の尾根に並ぶ巨岩。この岩の上に「宝篋印塔（ほうきょういんとう）」が置かれている。標高は1300m宝篋印塔が置かれる仏岩に登ると見晴らしは360度、思わず足がすくむ絶景です。

登山口から小さな沢を渡り雑木林の中を登っていきます。クサリ場を過ぎると仏岩の足元に岩に取り付けられている鉄梯子を登ると宝篋印塔の置かれる岩の上に。本当に「よじ登る」という感じですよ。

引用「長野県長和町協会公式ホームページ」より

## コンセプト

仏岩の頂上付近の風景をイメージした行灯を制作。中でも頂上からの道筋を示す鉄棒子はこの作品で最も特徴的な部分である。

その麓にあるバス停で展示することで観光スポットと結びつけた。



【仏岩駅】に設置予定  
W150 × D100 × H 200 mm